

矢板の一番物語

伝統ある文化・スポーツ団体をご紹介します！！

伝統文化に触れて心をみがこう!!

矢板市茶華道協会

茶華道協会は、昭和四十九年の文化協会設立時から加盟している文化協会の中で一番古い団体です。文化協会には現在十二の専門部があり、各専門部には幾つかの団体が所属し、矢板市の文化活動を担っています。

茶華道協会の指導員は二十二人ですが、その下に各自の生徒さんがいるので、実際に活動している人数はたくさんになります。お茶とお花の両方を教えている先生は三人で、お茶の先生には男性もいます。お花は四流派あり、お茶は表千家と裏千家の二つです。

平成二十一年から、初代会長の得納邦江さんより二代目会長を受け継いだ長谷川ゆう子会長にお話をお聞きしました。

●一年間に行っている行事などは

今年、一月に子どもたち中心に昔遊びや伝統文化に触れてもらうイベントを矢板武記念館で、また、二月にはフェスタinYAITAでも、生け花を飾り

ました。四月に行う矢板武記念館の観桜会では、お茶会と生け花の展示のほかにも、お琴の演奏もありません。お茶は日曜日、お琴は土日のどちらかで行われます。夕イミンクが合えば、枝垂桜を愛でながら、お茶やお琴を楽しみますよ。

十月には、県の芸術祭があります。今年、矢板が会場で、文化会館大・小ホールなど、四力所で行われます。(矢板で開催するのは四回目)前年、平成二十二年に矢板で開催した時は、二二〇〇人ほどの入場者があり、とても好評でした。また、



野球を続けてよかった!

矢板市野球連盟

昭和四十八年、矢板市野球連盟が発足しました。発足と同時に栃木県野球連盟にも加入しており、今年で創立四十五年目を迎えます。

●連盟のあゆみ

昭和四十八年、山口公久初代会長を中心とした市内の野球愛好者への呼び掛けにより、野球に対するマナーと技術の向上を目的として、二十八チームの登録を得て、矢板市野球連盟が発足しました。

ピーク時には六十三チームの登録がありました。十五チーム、約四〇〇人の選手が登録しています。

本格的な専用野球場が完成し、県内の主要大会や連盟主催の学童・中学校の大会を開催しています。高いレベルの野球を身近に感じること、選手の技術向上とチームのレベルアップにつながっています。



●活動状況は

今年度は十九大会です。参加チームが一番多い大会は、学童野球で、毎年盛大に行われています。そのほか、四十歳大会、六十歳大会、七十歳大会があり、何歳になっても現役選手として試合に出ることができ、一生楽しめる。高年齢の方は、森さん七十八歳で現役選手です。



●目指せ甲子園!

大会が開催されている一方で、年々チーム数が減少しており、野球人口が減ってきています。

●やっつけてよかった

若いときに始めた野球をずっと続けてきたことで友だちができました。運動をするということは健康にとってもよく、また、審判は大きな声を出すのでストレスがたまりません。

(R・K)

(T・O)